

タチヒダゴケ科

キサゴゴケ

Hypnodontopsis apiculata Z.Iwats. & Nog.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… CR

■ 県内分布

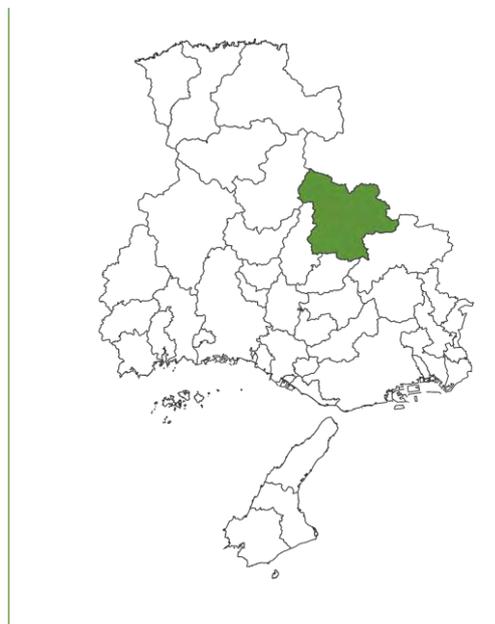
丹波市

■ 国内分布

本州(中部以西)、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

既産地は少ないが、公園、城跡等の大木を調査すると今後発見される可能性が高い。しかし県内の唯一の産地では数度の調査にもかかわらず再確認できていない。2020年版でBランクからAランクに変更した。

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

外形はカタシログケ科のヒメイサワゴケにやや似るが、より小型。茎は立ち、長さ2-3mm。上部の葉は舌形からへら形、長さ1.1-1.3mmで広く尖る。葉縁は平坦でほぼ全縁。中肋は葉先に届き、短く突出するが、横断面で腹側の表面にガイドセルがある。葉身細胞は小さく、円状六角形、厚角で表面に3-5個のパピラがある。葉基部の細胞は矩形で透明、平滑。雌雄同株(異苞)。蒴はきわめてまれ。蒴柄は短いが湿ると強く螺旋状に巻く。蒴は乾くと強い縦ひだができる。蓋は平盤状。蒴歯は1列で8本、表面に柵状の肥厚がある。葉の上に数細胞からなる紡錘形の無性芽をつける。年を経た杉の幹の割れ目等に着生するがまれである。